

第14回(通算2675回)例会記録 2015年(平成27年)10月14日(水)

- 🌸 司会進行/羽地 宏幸
- 🌸 ロータリーソング/君が代・四つのテスト
- 🌸 ゲスト/吉本 多香美氏(女優)
入口 初美氏(石垣島自然ファームアス)
- 🌸 ビジター/三宅 耕平氏(大阪南 RC)
- 🌸 メークアップ/ (計0名)

出席報告

会員総数 38名 出席義務会員 37名
出席数 20名 欠席数 17名
出席率 54.05%(10月 通算出席率 54.05%)

本日のニコニコ

BOX ¥1,000(累計¥27,000)
コイン ¥5,217(累計¥33,592) **合計¥60,592**

会長挨拶:新 賢次



先週の観月会、大盛會に終わる事ができまして、大変ありがとうございます。三団体の合同観月会という事で、めったにないという集まりでしたが、当日台風が去った後でお月さんお目見えになるかと気をもんでいましたが、しっかりとお月さん出ていい観月会ができたかと思えます。ライオンズ、JC も喜んでいただいてまたやりましょうと言って頂きました。

さて、ライオンズとか我々もそうですが、国際的な組織という事で、世界の200カ国余りに広がっている組織であります。ですからオリンピックの一人ほとんど一緒かなと思っています。オリンピックがここ何回か204カ国の参加なんです。ちなみに国連の数が193カ国だったと思えます。先日オリンピック誘致に尽力された東京 RC の水野パストガバナーの講演会のDVDを見ました。内

容はオリンピックの誘致のいろんな話でしたが、元々は世界の環境について取り組んでた事がきっかけでオリンピックに繋がったという、大変面白いお話でした。我々ロータリアンも世界的な組織であるという事は、広い視野、観点を持てると思います。日頃からそういう観点で考えられるようになりたいと思っています。まだまだ世界に行った経験は少ないですが、今後そういう経験も積みたいなと思えますが、広い視点観点があって、地域もいろんな視点でとらえることができるんだと思います。本日はゲスト、吉本多香美さんは70カ国くらいを回ってこられたそうです。そういういろんな世界を回って来られて、それで石垣の地域を捉えているんじゃないかと思えます。「石垣は海と山の恵みがあり、文化が豊かで本当に世界に誇れる宝の島です。」とコメントされています。そういったお考えのお持ちの吉本さんに卓話をして頂くという事で大変嬉しく思います。よろしくお願ひ致します。

幹事報告:宮良 薫

12月9日(水)IM大会がハーバービューホテルで開催されるとの案内が来ています。来年の2月24日・25日の地区大会の案内、5月30日(月)の国際大会ソウルの案内が届いています。

本日理事会が行われました。北上RCとの交流について、北上RCの幹事から連絡がありまして、お互い行ったり来たりは厳しい面もあるので、物産等を交換してはどうでしょうかという提案がありました。岩手北上の物産を送りますので、石垣からも泡盛、かまぼことかの物産を送って、会員が集まった時にこれを楽しみましょうという事で、理事会で承認されました。世界食糧デー沖縄大会の案内、八重山大会は10月15日、石垣市健康福祉センター視聴覚室で行われます。

12月9日のIM大会の懇親会の時に各クラブから1人代表を出してもらって、カラオケ大会をする事になっております。我こそはと思う方は立候補をお願い致します。

委員会報告

プログラム/親睦委員長 南波 正幸

12月7日に宮古RCで米山奨学生を招いて親睦会を開くという事で、石垣RCへも案内が届いております。12月7日の12:15~例会なんです、前日ゴルフコンペがあって、夜に懇親会が開催されます。鈴木ガバナーもいらっしゃるという事で

すので、ご参加よろしくお願ひ致します。

職業・社会・青少年奉仕委員長 奥平まゆみ
ご連絡です。ロータリー財団の地区補助金、「結の会」への寄贈式に日程が決まりました。10月28日に清掃活動支援プロジェクトという事で、ユニフォームと清掃用品を寄贈致します。13:30から贈呈式を行います。その前に近くのレストランで昼食を取って、13:30までに移動する予定です。詳細は追って事務局からご連絡しますので、多くのご参加をお待ちしております。

ゲスト卓話:吉本 多香美氏

女優

テーマ「生きる力」



15の時に両親に連れられてアフリカを旅して以来、70カ国以上公私共に旅してきました。「生きる力」というのが私の人生のテーマなんですが、今日はその事についてお話させて頂きたいと思えます。

私の父はご存知の方もいると思えますが、初代のウルトラマンを演じました黒部進という役者です。76年になっていますが、今でも現役でドラマや舞台に立っております。その父がウルトラマンを演じていたのは27の時でした。その後、父は私がまだ生まれて半年の時に、アフリカ大陸をバイクで1人で東から西へ横断をする旅をしました。今から40年以上も前の事です。なんでそんな旅をしたかという、ウルトラマンのイメージが付いてしまって、その後の役者生活、どうしてもイメージを払拭できなくて、とても苦しんだそうです。家族を持って、子供を持った時に自分探しの旅に出かけたいと思って、私と母を置いて1人でアフリカ大陸を横断しました。アフリカ大陸といっても、54カ国現在では8億人の人が住んでいます。大陸の大きさは日本の国土の約80倍です。今から40年前のアフリカは本当に未開でした。そんな中を1人で半年かけてバイクで横断しました。その時に父は日本から一歩外に出て、地球という星を空から俯瞰して眺めるような、そんな視点を持ったそうです。その時に人間らしい人間に出会って、こんな人たちが生きている事を家族に伝えたいと思って、帰って来たそうです。

いつか家族と共にアフリカの地を踏みたいと、その夢が実現したのが、私が15歳の時でした。妹が6年生の時、夏休みの1か月半をかけて父がジープを運転して、ケニアの国立公園から国立公園を日本から持って来たテントや様々な生活道具、キャンプ用品を持って、サバンナの中を野生動物

を追いながら旅をしました。そこは私の初めての日本の外の国でした。キャンプで寝ていて、朝地響きで目が覚めました。なんだ?この地響き、地震かなと思って、あわててテントを出たら、なんとほのか地平線の向こうに大群の黒いものが動いていたんです。「お父さん、これ何?」と言った時に、父は「これは1年に1回、タンザニアからケニアに水を求めて移動するヌーの群れだ」10万頭ものヌーの群れが地平線を黒い線になって移動していたんです。ある時は目の前でライオンが水牛をハンティングしていました。1頭のメスライオンが水牛をハンティングした後に、群れの何頭ものメスライオンや子供のライオン、オスのライオンが寄って来て、貪り食う様子を、命が亡くなって、ライオンたちの命の糧になっていく様をつぶさに見ていました。肉が引き裂かれて、血が飛び出て、内臓が飛び出て、しばらく経つと、お腹が満たされたライオンたちが離れた後に、ジャッカルやハイエナがやって来て、残りの肉を貪りつき、その後、空を見てみると大きな鳥が旋回していました。ハゲタカです。ハゲタカが舞い降りて来てハイエナとけん制し合いながら、ハイエナの次にハゲタカが頭の中、目からくちばしを入れて内臓の中、ハゲタカの頭がツルツルなのは何でかと思ったら、毛があると内臓の中に入ると、体中血まみれになってしまうからなんです。だからハゲタカって頭に毛がないんだと思えました。そうやって1頭の水牛の命が亡くなって、他の動物たちの命の糧になっていくという、命の循環をつぶさに見させてもらいました。

ケニアではマサイ族が暮らしています。他にも先住民の方がいますが、すごい身体が細長くて、槍を持って、ライオンを槍で狩ったりする人達で遊牧民です。その人達の財産は牛なんです、何十頭牛を飼っているかというのが、誇れる目安でもあるんですが、牛追いの人達です。マサイの村に行った時に、家に招き入れてくれました。その家はなんと牛のウンチと泥を混ぜた粘土で出来たお家でした。細長い枝で枠組みを作って、私の身体よりも少し大きいドーム状のお家を造っていました。牛のフンで出来ているから臭いかなと思ったら、アフリカの照りつける太陽で乾燥されていて、ほとんど匂いはしませんでした。アフリカの女性は自分がどれだけ素敵な女性であるか、どれだけセクシーかというのは、どれだけきれいな家が造れるかとみたい、そういうのでお嫁さんを決めたりするそうなんです。マサイの人達は牛の蹄以外は全て戴きます。皮ももちろん使いますし、貴重なタンパク源は牛の血と牛乳を混ぜたものを飲みます。お肉も時々戴きます。ミルクは毎日飲みます。私はその時15歳でしたが、ケニアの15というのは結婚適齢期なんです。私たちはよく

ケニアの酋長さんに会って、自分達が日本から持って来たそうめんや梅干を一緒に食べたりしていました。ある日、私をお嫁に欲しいと言われてまして、その時に父に交渉したのが家の牛 49 頭と娘を交換してくれないかと父を口説いたそうです。こんな所に置いていかれても本当に困ると思っていたんですが、その時父はお前がここに残りたいなら残りなさいというふうに言ってくれました。

父は何で私にそんな旅をさせたかというのと、「お前は今東京で暮らしているが、東京でお前が学校に行きたいから行っていて、お前がここに行きたいから生きているんだ、お前はこの先自分が本当に行きたいところに行って、この人達と生きていく事も出来るし、本当にいろんな選択肢があるんだよ」と。私はその時アフリカの子供達は学校にも行けてなくて、絵本も文字も読めなくて、かわいそうだなと思っていた時があったんです。でもそれは私の傲慢な思いで、こんな文明がない、水道もガスも電気もない、家は牛のフンで作られているような暮らしをしている人達が、こんなに生き生きと毎日楽しそうに家族と共に動物と共に友達と共に生きている様子を見て、何がないからかわいそうだなと思っている私自身の考え方が間違っていたんだと、この人達の幸せの尺度というものを私はそこまで行って、一緒に笑って楽しんで遊んだからこそ、私間違っていたなと、世界にはこんな生き方をしている人達がいて、私とは全然肌の色も違うけど同じ事で喜び、同じ事で悲しんでいるんだな、共に人間なんだなという事をすごく感じました。

ちょうど象の群れが大群をなして移動する時期もありました。数えただけでも 185 頭の象たちが沼地に集まって水を飲んでいました。家族で移動しながらお水を飲んで草を求めている象は 185 頭集まるのはそんなにないんです。その時はたぶん象のお葬式かお祭りなんだろうというふうに、後で動物の研究家の人が教えてくれたんですけど、ちょうどその時は象のお祭りに遭遇しました。その象の本当に時が止まった様な時間、ゆっくりゆっくり歩いて水浴びをして、象同士がじゃれ合っている姿を見た時に、どこに行こうと今この瞬間、その象たちはここで生きている、この地球の上で同じように生きているんだなと、この地球には悠久の時が今も流れているんだな、この時と、そしてあそこで生きている野生の動物たち、両方の視点を持っている事が、私が今ここで生きていくときに何かを決めたり、何かを想ったり、感じたりする時にそれが私のすごい力になっています。

私はその後、西アフリカに旅をする機会がありました。西アフリカは 15 世紀までマリ帝国という大きな帝国があって、金の交易をローマ帝国のある時代までしていたんです。15 世紀にフランスの

植民地になって消滅してしまったんですが、その後ギニアやセネガル、コートジブヴォール、線が引かれて別々に国が分かれてしまったんですが、今でもマリンケ族という人達が残っています。マリ帝国をルーツにしたマリンケ族の人達は何がすばらしいかと言いますと、1 つは国がとても豊だったために音楽と文化が栄えたんです。ギニアは日本の本州くらいなんです。人口は 1170 万人くらいです。本当にガスも電気も水道もありません。空港があるコナクリという首都さえ 4 日に 1 回しか電気は通りません。3 日に 1 回しかお水も、水道の蛇口は家に付いていますが、水道管は繋がってなくて、ただ飾りで蛇口が付いている、夢の蛇口です。首都のコナクリでさえ大きな給水車が数日に 1 回来て、家じゅうのタンクを持ってお水をくみに行きます。それが大きな首都です。そこから 24 時間車に乗って内陸に行くと、本当に何も無い、全く文明の入っていないサンバララという村があります。私はアフリカの人達が大事にしている、生きている時から死ぬ時までの様々な世代で行われている通過儀礼の儀式の時に執り行われているダンスと音楽、それを体験したくてその村に入ってみました。その村はニジュール川という川幅が 100m くらいの川向こうにあります。川には橋が架かっていないので自分の頭にリュックサックを乗っけて、腰まで水につかって、その村に入りました。その村はアフリカでもとてもきれいな村で、お水が湧き出しています。その水は初めて旅をした私でさえも、飲んでお腹を壊さないくらい清らかな水でした。微発砲のシュワシュワした水です。そして村には自分の手を伸ばしても届かないくらい幹の太いマンゴーの巨木が生えていました。そのマンゴーの木からはたくさんの数えきれない星のようなマンゴーが地面に落ちていました。その村はお水が豊かなのでお米も作っています。川ではお魚が取れます。野菜も作ります。その豊かな村は他の村から羨ましがられている村でした。とても豊かな村なので、やはり音楽と文化が栄えたんです。他の村がその村を狙っている、そんな状態がずっと今も続いているんです。いつかこの村を乗っ取ろうと他の村も思っているんです。他の村は貴重なタンパク源はほとんどないので、穴を掘ってアルマジロを食べたりしているような周りの村々、そんな村々からギニアのサンバララの村は自分たちの村を守るために何をしたかというのと、とても面白いお祭りを繰り広げて、その村を守る伝統を今も続けて持っているんです。

マワヤという既婚の女性だけが参加できるお祭りで、何をするかというと、女性たちが自分達がどれだけ幸せか、自分の子供達がどれだけ生まれて、みんなで幸せに暮らしているという、自分の今ある祝福された生き方を神様に感謝するお祭り

です。このお祭りは女性が輪になって太鼓が盛り上がり上がってくると、太鼓隊の前でダンスをするというお祭りなんです。びっくりしたのが、70 歳以上のしわしわのおばあちゃんが、太鼓隊の前に走り出て踊りだしたんです。私は何でこんなに踊れるんだと思って、すごくびっくりしてそのおばあちゃんから肉体の可能性を見せてもらいました。太鼓隊はただのエンターテイメントとしてではなく、全てのお祭りは太鼓で始まります。太鼓によって導かれる、なので太鼓を叩く人はただの太鼓叩きではなくて、シャーマンのような神事を司る役割を持っています。私たちは自分の中で自分の肉体の可能性というのを限界を作っているんですが、この村のおばあちゃんはびっくりするほど元気でした。この村にはたくさんの子供たちも暮らしていますが、その子供たちと一緒に散歩をしたんですが、その子達は自分のおやつを捕るのに、何と枝の幹を切り取ってパチンコと作って石を飛ばして野鳥を打ち落として、毛をむしって火を起こして焼いて食べていました。それが子供たちのおやつでした。ある時はセミを捕って来てセミの翅をむしって、生きているままお尻からむしゃむしゃ食べていました。またバンドンジュリというお祭り、男性が首にリングを撒いて、リングには白い毛があるんです。この村の近くにはバンドンというサルが住んでいて、そのサルの物まねをしているんですけど、筋肉ムキムキなんです。跳躍力もすごくて、私はこの男の人達の肉体を見てびっくりしたんですけど、村人ほとんどこんな体をしています。それからドゥンドゥンバというお祭り、この村は他の村から狙われている、でもこの村の人達は自分の村を守るために戦わずしてどうするかというと、ドゥンドゥンバというお祭りを繰り広げることで、この村を守っています。どんなお祭りかというのと、男の人達右手と左手にムチと斧を持っています。かつては自分のムチで自分の背中を叩いて流血させながら踊っていました。筋肉ムキムキのダンスバトルのような踊りなんです。男の人達 30~35 歳のバラティエという世代の人達が参加するお祭りです。こんな血なまぐさいお祭り、男同士が自分の生命力がどれくらいすごいかという事を見せつけるお祭りなんです。そしてこの村を狙ったら俺たちが相手だぞ、という事をこのお祭りで威嚇して、戦わずしてこの村を守っているというお祭りです。

この村の人達はニジュール川の水を飲み、洗濯をし、全て生活の糧に使っています。このニジュール川はお魚もいます。この川には橋がかけていません。村の酋長さんになぜ橋を架げないのかと聞いたら、この村から車で 30 分行くと電気が通っている村もあるんです。そこは古着の洋服や履きつぶしたような靴も売ってたりします。そう

いう村がある事をこの村の人たちは知っています。でも現金を持っていない村の人たちなんです。物々交換で物のやり取りをしているんです。若者たちは靴を履きたい、服を着たい、どうやって手に入れるかいうと、現金になるものほとんど持っていません。この村の人は大木を売ればいいと思っているんです。でも酋長さん上の世代の人達はこの村の木を切ったら雨が降らなくなる、雨が降らなくなったら自分達は生きていけない、だから木を切って運び出さないために、この村にはずっとこれからも橋を架げない、そう誓って、酋長さんから酋長さんへ受け継いでいく決まりがあるそうです。私がこの村に行った時にあまりの自然の豊かさに驚きました。靴も履いて、リュックも背負って、飛行機に乗って日本から遊びに来ている私が、この村の自然を壊さないでくれと言うのは、本当に見当違いのお願いで、だってその子供達だって靴欲しい、クレヨン欲しい、でもお金がないので、自分は木を売るしかないんだと言った時に、じゃ私は何が言えるか、自分の生き方と今の現実のあり方に矛盾を感じました。

場所は中国に飛びます。ベトナムの国境近く少数民族自治区という所があります。NHK の世界一番紀行という番組で世界一長寿の方々が多い村を訪ねて、健康長寿の秘訣を聞くという番組のテーマだったんです。その時に会った 100 歳以上のおばあちゃん、5 人会いましたが、全員 108 歳以上でどなたもメガネの必要ないくらい視力もはっきりしております。現役で生活している人たちです。何が生きる力になるかというのと、やはり水がきれいである事、空気がきれいである事、大地が汚されていない事、それがすごく大事だとおっしゃっていました。123 歳のおばあちゃんにどんな物を食べているのか、よかったらおばあちゃんが食べている物を私たちに食べさせてほしいと、作ってくれたのが麻の実のおかゆです。野生に生えている麻の実を磨り潰す、そうすると胡麻のように油分がすごくあるので、ねっとりとしたペースト状になるんです。それを 50 度以上のお湯で解くと乳白色になります。それをひょうたんの線維で濾して、乳白色の豆乳のような液体にお米を入れて炊くんです。麻の実というのは唯一油と水が乳化する脂分で、アミノ酸がものすごく含まれています。このおばあちゃんは一日に何杯もこれを食べて、中国で麻の実は火に麻と書くんです。麻の実を食べると体が熱くなるんです。私が訪ねたのは旧正月だったんです。中国のベトナム国境に近い南の国なんです。大陸の北風が吹いて、私はダウンジャケットを着ていたのに、おばあちゃんは 3 枚くらいのコットンの服を着て生活している。そのおばあちゃんは麻の実で体を温めて、毎日たき火の木を山に取りに行きます。帰りにパシパシ

石垣ロータリークラブ週報

<今月のロータリーレート \$1=120円>

Weekly Report No. 2269

国際ロータリー・テーマ

2015-16年度
会長テーマ

「奉仕・天資と文化」



世界へのプレゼントになろう

K. R. ラビ・ラビンドラン

会長:新 賢次 副会長:前木 繁孝
直前会長:上原 秀政 幹事:宮良 薫
副幹事:前原 博一 SAA・出席:羽地 宏幸
情報・会報:名渡山 秋彦

創立記念日 1962年3月12日 (55周年)

2015年(平成27年)10月7日(水) 第13回 例会(通算2674回)

と背中になたを背負っていて、なたで枝を切って、スキーのストックのようにして山を降りて来る。そんな山登りを123歳のおばあちゃんと一緒にしたんです。このおばあちゃんは128歳で亡くなりました。長生きの秘訣ですか?と聞いた時に、印象的だったのが、自分が家族に求められているという事、現役のおばあちゃんはお正月になれば自分たちのお家で作ったお米でお酒を作ります。そのお酒を振る舞うのがおばあちゃんの旧正月の役割でもあるんですが、5世代に渡って一緒に暮らしているという家族との繋がり、そして食べ物、汚染されていない食べ物、水も豊、美しい空気と美しい土、その2つがおばあちゃんの生きる力になっていると話してくれました。

私はアフリカも中国の少数民族自治区に住んでいるおばあちゃんたちも何がすごい、生きている人間そのものの生命力がすごいんです。生きている場所がすごいから、そこに生きている人間がすごくなるんです。この石垣の土地でもこの土地の力がすごいからすごい薬草が生えていて、美味しい野菜、生命力豊かでジャングルに行くと原生林が変わらずに残っていて、私の集落は伊野田なんです、伊野田でも90歳以上のおじがトラクターに乗って、パイナップルを育てたりして、夕方になってみんなで農道作業する時も、おじちゃんも来て一緒に農道をきれいに整備して、終わったら、集落のおじ、おばもみんな出てきて三線引いて歌ってみんなでカチャーシーするような、そんな石垣の人達、私が世界で見てきた先住民の人たちと似ているなと思ったんです。やはりこの土地は日本だけどまだまだ本当に人間の力を高めてくれる、宇宙から世界から神様からの贈り物のような場所が残されていて、その場所で生きている人たちはこんなにも元気で、私は東京に行って子供たちに会うけど、公園でゲームしたり、長い時間電車に乗っていきやいけないような、子供だったらあきちゃうというような車や電車の中でずっとゲームをして、大丈夫かなという子供が都会では多いんです。アフリカや中国や他の国々の先住民の村や集落の子供たちとあまりにも違って、でも石垣に来ると北部でも街でも子供が本当に子どもらしくて、本当にほっとするんです。私はこの石垣島、八重山が日本にある事をすごく誇りに思っています。ここは本当に最後の残された場所と言ったら語弊があるかもしれませんが、ここをみんな訪れて生きる力を取り戻したり、生きる力を増して、また元の場所に戻って行くような、そんなポテンシャルがある、可能性がある場所だと信じています。だから私はこの島が本当に大好きですし、この島の良さをみんなにわかって頂きたい、この島に住んでいる人たちが、この島がどれだけ素晴らしい島であるかという事を、今

一度分かって頂ける、そんな事を出来るお手伝いのできたらいいなと思っています。ありがとうございました。

～例会風景～



貴重なお話をありがとうございました。



福岡ナンバー

各県より

<今週の職場:NTT 西日本沖縄支店八重山営業所(白道 直行会員)>

NTT西日本一沖縄支店八重山営業所の面子(3名)です。NTT八重山ビルの1階は故障修理などを行うNTTフィールドテクノ八重山サービスセンタの皆さんがいて、2階が営業関係の事務所となっています。情報通信を通して地域の発展、活性化に寄与することを本懐として仕事に取り組んでいます。本写真は職場というよりメンバー紹介ということで受け止めて下さい。

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル日航八重山(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp